



ウルシと漆

蒜山のウルシ林と郷原漆器の工房見学

漆掻きは梅雨の頃に始まる。初鎌でウルシから出る乳白色の生漆は、真夏にはより透明な盛漆（さかりうるし）となり、初秋の頃に止め掻きが行われる。生漆を精製した透き漆を郷原では山栗の木地に塗り、その椀は長く人々の日々の暮らしに使われてきた。ウルシと漆の現場を蒜山に訪ねる。

日 時：2024年6月9日（日） 9時 - 14時

集 合：郷原漆器の館（真庭市蒜山上福田425）

講 師：デイロング デービッド

参加費：1000円（昼食および資料代）

申込み：先着20名 6月6日までに下記へ
080-6514-2364（岡田）
hatakesimeji10@gmail.com

主 催：讃郷愛林協会

「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」交流イベント

